## 〇令和3年度 実験動物飼養保管数及び使用数報告 (対象期間:令和3年4月1日~令和4年3月31日)

動物種	飼養数 ※1	使用数※2	生体由来材料※3	
ウシ	195	1628	ウシ	3324
ウマ	32	332	ウマ	141
ヒツジ	10	39	ブタ	202
ブタ	0	22	シカ	430
ヤギ	0	2	ヤギ・ヒツジ	5
アルパカ	8	8	イヌ	326
イヌ	12	207	ネコ	60
ネコ	3	29	マウス・ウサギ・モルモット・ ハムスター	8
ウサギ	14	27	トリ	40
マウス	1401	6810	魚類	480
遺伝子改変マウス	34	993	その他	675
ラット	6	226		
モルモット	0	15		
デグー	11	0		
ハムスター	0	0		
スナネズミ	0	3		
ハリネズミ	0	0		
ヘビ	0	0		
エゾモモンガ	0	63		
ニワトリ	327	1312		
ウズラ	34	40		
ダチョウ	0	0		
魚類	0	48		
ウシガエル	0	8		
アフリカツメガエル	0	8		

<sup>※1</sup> R4.3.31現在飼育中の個体数

## ○施設の情報

機関の長によって承認された飼養保管施設の総数 6施設(37飼養保管施設) (令和4年3月31日現在)

<sup>※2</sup> 施設で使用された動物の個体数(再利用数を含む)の総数

<sup>(1</sup>年間に実験に使用した回数および淘汰・自然死等の動物の総数。安楽死を伴わない実験での使用数 臨床症例を含む。)

<sup>※3</sup> 生体由来材料:耳下腺・膵臓・気管・直腸・胚・卵巣・血液・血清・糞・生検査組織・死亡個体